

■ロシア：サンクトペテルブルク市で4割の地域が停電

2010年8月20日午後6時40分頃、サンクトペテルブルク市で停電が発生、市内の40%以上の地域が停電と断水に見舞われた。停電は、隣接するレニングラード州にある連邦送電会社（FSK）所有のヴォストーチナヤ変電所（330kV）の事故によって引き起されたとされている。6時37分に変電所の母線6区間で停電が発生し、他の9カ所の変電所でも部分的に停電が生じた。その後7時にヴォストーチナヤ変電所が復旧、7時35分にはFSKのすべての電力設備が平常運転に戻った。しかし、停電の原因、特に変電所のトラブル内容の詳細についてはFSKでも解明されていない。FSKでは、気温の急激な低下や変電所に電力を供給する発電所での電圧の上昇など4つの原因説が検討されたが、いずれも確証が得られていない。テロの可能性については非常事態省が否定している。